

3. 広報(主な配布物)

意見募集リーフレット

福岡市の新しいビジョンを一緒につくりましょう!

人と環境と都市が調和のとれたアジアのリーダー都市をめざして

—— 福岡市長 高島 宗一郎

私は「人と環境と都市が調和のとれたアジアのリーダー都市にしたい。そのため、市民のみなさんとチャレンジをして新しい価値観をつくりたい」と、皆さんにお話しさせてもらいました。これからみなさまと一緒に、その具体的な姿となる、福岡市の新しいビジョンをつくっていきたいと思っています。

福岡市の現状は、予想を超えるペースで人口が増え続けていますが、高齢者が急増しています。国際会議開催件数は国内第2位の都市になるなど国際化が進んでいますが、福岡市で暮らす外国人の方はまだ少数です。約9割の市民の方が、住みやすい、住み続けたいと思っておられる一方で、マナーの悪さや犯罪の多さに不満をお持ちです。このような中、25年後の福岡市はどんなまちになるのか。

私は、25年後の福岡市が、いろいろなチャレンジを受け入れるまちになって、日本全国だけでなく世界から、夢や希望を持った人々が集まり、チャレンジし続けるまちになって欲しいと思います。先人への敬意や、隣人の思いやり、それらの根柢にある他者への理解をもつて、それをもとに人々が支え合っているまちになってほしいと思います。25年後も福岡市が世界に誇れるところは、その暮らしと仕事の環境だと思います。歴史や文化、自然環境だけでなく、さまざまな機能がコンパクトに集約されていることが、住みやすい、働きたいという魅力を高め、惹き付ける力になると思います。

みなさんはどんなまちにしていきたいですか?

福岡市の将来を描くのも、描いた未来をつくりあげていくのも、わたしたち自身です。皆さんぜひ一緒に考え、新しい福岡のビジョンをつくっていきましょう。

- 新たなチャレンジが次々と起きるまち
- 歴史や文化、自然にあふれるコンパクトなまち
- 互いの理解と尊重に支えられたまち
- 質の高い暮らしと仕事が人を離すするまち

もっと知りたい! 新ビジョン

Q.1 新ビジョンって?
A. 福岡市のめざす「人と環境と都市が調和のとれたまち」とは、具体的にどのような都市なのか、という都市像を示したものです。

Q.2 新ビジョンってどう使われるの?
A. 市民みんなで共有する福岡市の将来像として、総合計画に反映していきます。

Q.3 総合計画って?
A. 将来の健全な発展を促進するために策定する市政の総合的計画のことです。昭和62年の10月に策定した総合計画で、4つの都市像を掲げています。

- ・自転車や歩行を共にする市民の都市
- ・自然を育む快適な生活の都市
- ・海と歴史をいたむ文化的都市
- ・活力あるアジアの拠点都市

Q.4 なぜ、今、新ビジョンをつくるの?
A. 4つの都市像を掲げてから、およそ25年が経過しており、福岡市自身も、取り巻く状況も変化していますので、状況を踏まえて、あらためてビジョンを検討するものです。

Q.5 現状のデータが知りたい。
A. 福岡市の現状など、さまざまなデータは、まとめて福岡市ホームページに掲載して、皆さんにご覧いただけるようにします。

Q.6 具体的にどんな参加方法があるの?
A. ホームページ・市政だよりなどで随時お知らせいたします。

- ・フォーラムの開催
- ・説文募集
- ・ワークショップの開催など

Q.7 集まりに参加することはできないけど、意見だけ言いたい。
A. お手紙、FAX、Eメールで、隨時ご意見を頂きます。夢に溢れた「福岡らしい」ビジョンをお待ちしております。

Q.8 いつまで意見は募集しているの?
A. 新ビジョンを、最終的には12月頃にとりまとめたいと考えており、8月末までにご意見を頂きたいと思います。

Q.9 「アジアのリーダー都市ふくおか!プロジェクト」って?
A. 福岡市の新ビジョンをとりまとめていくための、さまざまな活動を総称したものです。

福岡市の「今」の特長・優位性

福岡市の「今」の特長・優位性

◎人口は予測を越えて増加しており、2005年の140万人から2010年は145万人に。
◎若者比率と女性の割合は12大都市中1位

【12大都市の現人口に占める若者率(15歳～29歳)と女性の割合】

◎貿易額は10年で1.6倍(2010年)
◎博多港の国際海上コンテナ取扱量は10年で2倍、外航船舶利用者は4倍(2008年)

【外航船舶乗組員と国際海上コンテナ取扱個数の推移】

◎2009年の入込み観光客数は1,614万人、10年で150万人増
◎国際会議開催件数は10年で3倍に(2009年)

【国際会議開催件数トップ5都市・開催件数推移】

(注1)資料:事業用・企業統計(1996年～2008年)。(注2)人口は2010年3月末基準。(注3)各都市が公表職業安定所のデータを基に作成。また、広島市の数字にはパートは含まれていない。

福岡市の「将来」を考える上での課題

福岡市の「将来」を考える上での課題

◎人口は増加傾向だが、高齢者が急増し生産年齢人口と少年人口の割合は減少
◎人のビーグル以前、生産年齢人口の減少が始まる見込み

【人口推移と人口構造の変化】

◎内需生産は、10年前と比べて横ばい(2009年:名目)
◎産業別競争力は、医療・情報通信・教育などは伸びているが、小売・卸売・金融保険・建設・製造などは減少(注1)
◎商品(小売・卸売)による販売額も減少傾向

【小売・卸売業の年間商品販売額】

◎2009年の市外移出人口は1,614万人、10年で150万人増
◎国際会議開催件数は10年で3倍に(2009年)

【国際会議開催件数トップ5都市・開催件数推移】

(注1)資料:事業用・企業統計(1996年～2008年)。(注2)人口は2010年3月末基準。(注3)各都市が公表職業安定所のデータを基に作成。また、広島市の数字にはパートは含まれていない。

意見募集 市政だより 平成23年6月15日号

記事

ふくおか市政だより
2011(平成23)年6月15日 6

新VISION

アジアのリーダー都市
ふくおか!プロジェクト

「アジアのリーダー都市ふくおか!プロジェクト」とは、福岡市の新ビジョンを取りまとめていくための、さまざまな活動を総称したものです。

第1回フォーラム参加者を募集

毎回多彩なパネリストを迎えて、さまざまなテーマのもと福岡市の将来について考える「アジアのリーダー都市ふくおか!プロジェクト」リレーフォーラム」は全10回程度開催する予定です。第1回となるキックオフ・フォーラムは次のとおり開催します。

第1回テーマ:福岡市の未来を描くキーワード
パネリスト:ギンギラ太陽s・大塚ムネト氏、㈱ふくや社長・川原正季氏、福岡地域戦略推進協議会事務局長・後藤太一氏、㈱ビズネット代表取締役・久留百合子氏、中央大学教授・山崎朗氏

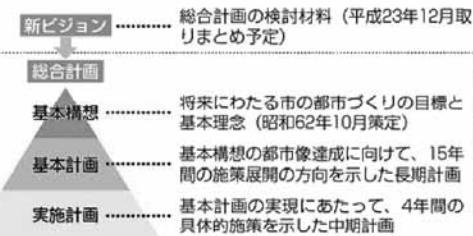
日時:6月18日(土)午後3時~5時

場所:市役所15階講堂(中央区天神一丁目)

定員:200人。先着順に参加証を送付。定員になりました次第締め切ります。参加費は無料です。

申し込み方法:はがき、ファックス、メールに郵便番号、住所、氏名、電話番号、参加希望日(6月18日)、参加人数を明記して申込先へ。

申込先:〒810-0001 中央区天神一丁目4-1 西日本新聞会館14階 西日本新聞イベントサービス内「アジアのリーダー都市ふくおか!プロジェクト」リレーフォーラム」係 ☎731-5210 ☎f-forum@nishinippon-event.co.jp 問い合わせは、右記事事務局へ。



総合計画の検討材料(平成23年12月取りまとめ予定)
市は「新ビジョン」の検討を始めました。
「新ビジョン」は、市が目指す「人と環境と都市が調和のとれたまち」とは具体的にどのような都市なのか、という都市像を示すもので、その後に予定されていいる市の総合計画(図)参照)の見直しの際の検討材料となります。

25年後の福岡市がどんなまちなみになつてほしいか」という都市像を切り口にして、幅広く市民の皆さんからの意見を聞きたい」というふたつの都市像(昭和62年10月策定)を共有する市民の都市自然を生かす快適な生活の都市海と歴史を抱いた文化の都市活力あるアジアの拠点都市

現在、市が基本構想で掲げている4つの都市像(昭和62年10月策定)が、平成23年12月予定で出来上がります。このままでは、市民みんなで共にする本市の将来像「新ビジョン」が、平成23年12月予定で出来上がります。

■ 意見の応募方法
郵送(ファクス・メール、ホームページなど)で、ご意見をお寄せください。様式は自由で、8月31日(木)まで募集します。またツイッターアカウント(@f_shinvision)やフェイスブック(www.facebook.com/fishinvision)からも応募できます。

■ 応募先・問合せ先
総務企画局企画調整部

「アジアのリーダー都市ふくおか!プロジェクト」事務局(〒810-8620 住所不^要 ☎731-4093(受付時間:午前9時~午後5時) f-shinvision@city.fujioka.lg.jp)

市の将来像

「新ビジョン」の検討に着手

「人と環境と都市が調和のとれたまち」を具体化

市民の皆さんのお意見をお寄せください

ご意見を伺つています。

寄せられたさまざま意見を取りまとめて、市民みんなで共にする本市の将来像

「新ビジョン」が、平成23年12月予定で出来上がります。

■ 意見の応募方法
郵送(ファクス・メール、ホームページなど)で、ご意見をお寄せください。様式は自由で、8月31日(木)まで募集します。またツイッターアカウント(@f_shinvision)やフェイスブック(www.facebook.com/fishinvision)からも応募できます。

■ 応募先・問合せ先
総務企画局企画調整部

「アジアのリーダー都市ふくおか!プロジェクト」事務局(〒810-8620 住所不^要 ☎731-4093(受付時間:午前9時~午後5時) f-shinvision@city.fujioka.lg.jp)

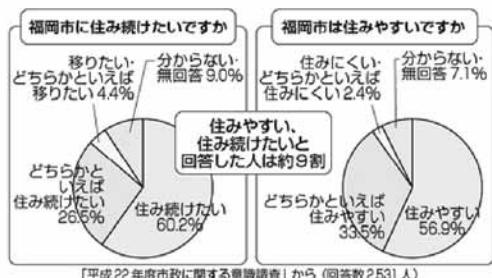
福岡市の新しいビジョンと一緒につくりましょう!

福岡市長・高島宗一郎

はまだ少數です。約9割の市民の皆さんのが、住みやすい、住み続けたいと思つてゐる一方で、マナーの悪さや犯罪の多さに不満を持つています。

私は「福岡市を人と環境と都市が調和のとれた、アジアのリーダー都市にしたいために、市民の皆さんとチャレンジをして新しい価値観をつくりたい」とお話ししてきました。これが皆さんと一緒に、その具体的な姿となる、福岡市新しいビジョンをつくっています。

本市の現状は、予想を超えるペースで人口が増え続けていますが、高齢者も急増しています。国際会議開催件数は国内第2位になると、市に暮らす外国人の人が、市に暮らす外国人が増えています。なぜ国際化が進んでいますか? 市に暮らす外国人の多い福岡市は、世界で最も人口が伸びています。これは、人々が支え合つているまちをつくり、いたいと思います。先人への敬意が集まり、チャレンジし続けるまちにしていきたいと決意しました。また、歴史や文化、自然、環境だけではなく、さまざまな機械がコンパクトに集約されていることなどが「住みたいい、働きたい」というまちの魅力を高め、引き付ける力になると感じます。



福岡市に住み続けたいですか
どちらかといえど移りたい
どちらかといえど住み続けたい
どちらかといえど住みにくい
どちらかといえど住みやすい
どちらかといえど住みやすい

ふくおか ツボLabo
TNC 8ch

毎週金曜日 午前11時15分~ (8分番組)

5日 「みんなで作る! 福岡市新ビジョン」のツボ
12日 「家庭的保育」のツボ

(5日放送分) 25年後の福岡市がどんなまちなみになつてほしいかについて、活発に、楽しく話し合っている「ワールドカフェ」の様子を紹介します。皆さんからの「新ビジョン」も募集中です。

市広報テレビでも
意見募集の取組みの紹介を行いました

163

「みんなが描いた福岡市の未来」から抜粋

〔女性・子ども・教育〕 ◆キラキラ輝く女性が日本で一番生き生きと活躍するまち◆世界に羽ばたくオシリーワンの子どもたちが健やかに成長するまち◆大学の魅力が人をひきつけ、学びから生まれる活力で、元気と活気があるまち

〔健康・福祉・高齢化〕 ◆アジアの諸都市のモデルとなる、高齢者が活躍し安心して歳を重ねられるまち◆ユニバーサルデザインですべての人が住みやすいまち◆心をゆったり幸せに暮らせるストレスフリーなまち

〔コミュニティ〕 ◆コミュニティーの再デザイン、新たなつながりが生まれる対話と交流のまち

〔歴史基盤・交通〕 ◆既存のストックの利活用で美しさと新たな価値観を生み出すコンパクトなまち◆量の交通から質の交通へ転換するまち

〔自然・環境〕 ◆「もったいない」が一歩進んだ、環境・エネルギー技術のショーケースとして発展するまち

〔安全・安心〕 ◆発展と治安の両立した、皆が安全で安心して暮らせるまち

〔歴史・文化・スポーツ〕 ◆歴史・文化・スポーツで充実した市民の時間が、世界をひきつけるまち

〔観光・集客〕 ◆来街者がドラマを感じる、わざわざ行きたくなる吸引力のあるまち◆祝祭が年中ある、非日常を楽しむエンターテイメントシティー

〔農林水産〕 ◆九州の安全・安心で美味しい食を、アジアに売り出すまち

〔アジア・国際化〕 ◆外国人も住みたがり、多文化が日常化した、ボーダーレスなアジアの拠点になるまち◆学び続ける多言語教育のまち◆九州が一つの都市圏になって成長し発展するための核となるまち

〔港湾・空港〕 ◆利便性の高い空港と港湾でアジアに直結するまち

〔産業振興〕 ◆働く場がたくさんあり、わたしいらしい働き方が選べるまち◆国境を越えてプレイヤーが羽ばたき、夢が成長のエネルギーになるチャレンジのまち◆企業から選ばれ、愛され住みたいと思われる憧れのまち

平成23年5月の「福岡市の新しいビジョンと一緒につくりましょう!」という市長からの呼び掛けで始まつた「アジアのリーダー都市ふくおか!プロジェクト」には、「25年後の福岡をどのようなまちにしたいか」について、地域、企業、大学等の皆さんから、さまざまな意見が寄せられました。

同プロジェクトは、大学教授など有識者へのインタビューの実施、市民参加のフォーラムの開催、論文の募集、アンケート調査の実施などに加えて、新たな手法として、100回を超える「ビジョンカフェ」(リラックスした雰囲気を作り

出し、自由に意見を出し合えるようにする話し合いの手法の開催や、ツイッターや、フェイスブックを活用した意見募集なども導入しました。

寄せられた多くの意見を分類・整理していく中で、福岡市の将来を考えるに当たっての課題認識や、視点・論点が明らかになってきました。

福岡が好きで、福岡をもうかるのまままた姿が見えたときました。それらをどうよくしたいという共通の思いをエンジンに、みんなが描いた福岡市未来です。

福岡が好きで、福岡をもうかるのまままた姿が見えたときました。それらをどうよくしたいという共通の思いをエンジンに、みんなが描いた福岡市未来です。



フォーラムは11回開催。53人のゲストが登壇し、延べ約1,100人が参加

「みんなが描いた福岡市の未来」はホームページ
(<http://f-shinvision.jp>)

■「みんなが描いた福岡市の未来」と総合計画

総合計画	基本構想	将来の市がこういうまちになっている、という都市の姿を定めるもの
基本計画	将来の都市像の実現に向けた方向性を、まちづくりの目標や実現に向けた取り組みとして総合的、体系的に示した10年の長期計画	みんなが描いた福岡市の未来をしっかりと受け止め、今後、市は総合計画(下図参照)をくくっています。
実施計画	基本計画の実現に当たって、具体的な施策を示した4年の中期計画	

みんなが描いた福岡市の未来

新VISION
アジアのリーダー都市
ふくおか!プロジェクト

（問合せ先）
（071-4093-7333）
（071-559822）
（所1階）、各区役所広報担当
当市総合図書館などで見
ることができます。